

# 学校評価書（令和2年度 幼稚園部）

令和3年1月29日

学校法人 浜松平和学園 平和こども園長 藤谷 昌宏

学校法人 浜松平和学園 平和こども園 学校関係者評価委員長 原田 富子

1 こども園教育目標 「明るく たくましく やる気のある子」					
2 本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画) ○ 生活に必要な、健康・安全の習慣を身につける ○ 諸活動を通して人間関係を深め社会性を養う					
3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果 ※評価点は、4(十分に成果があった)、3(成果があった)、2(少しの成果があった)、1(成果がなかった)の数値を表す。					
評価項目	園としての取り組み(観点)	自己評価点	こども園としての反省と改善策	学校関係者評価委員会評価点	学校関係者評価委員会の意見
① 保育の計画性	<ul style="list-style-type: none"> <li>園児の実態に合った教育課程や行事が組まれているか。</li> <li>指導計画の評価を定期的に行い指導に生かされたか。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で例年とは違う行事運営だったが、職員間でできることを検討し、やり方を話し合い、実施することができた。</li> <li>行事が目的ではなく、過程が大切ということが定着してきている。</li> <li>5領域の実践に偏りがみられる。担任の得意不得意に関係なく、バランスよく子どもたちに体験させ、成長につなげたい。</li> <li>各学期ごとの総括だけでなく、行事の振り返りの話し合いの機会をもつようし、反省を次年度に生かせるようにした。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな園であるが、コロナが出ず園生活を送れているといことは、先生たちが一丸となってコロナ対策をしてきている日々の努力があるからだと思う。神経をつかって、本当によくやってくれていると思う。</li> <li>先生たちも通常のように保育ができないというもどかしさがあるだろうが、無理をせず、健康第一でやってもらいたい。</li> </ul>
② 保育のあり方、幼児への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>個の発達に合わせた保育に心掛けたか。</li> <li>基本的な生活習慣をおろそかにしない保育であったか。</li> <li>子ども同士の心の通い合いを大切にできたか。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員全体で子どもの成長や理解を深め、子ども一人一人に合った支援や配慮の方法を検討し、細やかな対応をするよう心がけた。</li> <li>基本的な生活習慣を身に付けるため、個々に応じて援助をしながら繰り返し指導するよう努めている。</li> <li>子ども同士のかかわりでは、お互いの気持ちを受けとめつつ、自分の思いを伝えられる環境をつくるよう心掛けた。また、良いこと悪いことのけじめをつけるように指導した。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の中、いろいろなことをやめるという選択をしている園が多い中、子どものことを思い、やり方を工夫してくれ、いろいろな行事を見ることができたのは嬉しかった。</li> </ul>
③ 教師としての資質、能力、適性について	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育内容の事前準備や事後処理が適切であったか。</li> <li>環境整備に気を配り適切に対処できたか。</li> <li>係の一員として自分の力を発揮したか。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の係の仕事はそれぞれが責任をもって取り組めた。行事に向けても担当の職員が発信をし、職員全体で連携して進めることができた。半面、保育者間で仕事量に差が出てしまったので分担して進めたい。</li> <li>けがの発生もあったので、もう一度環境や遊び方の指導を考えたい。</li> <li>不審者対応訓練を子どもがいる時にも行い、安全に対する意識を高めることができた。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナで登園自粛になった時にカリキュラムが進んでしまうことはどうかと思った。今後は同じようにならないようにしてもらいたい。</li> <li>今年度は参観会もなく、特にバス登園の年少の保護者は担任と会う機会がなかなかなく、不安に思っている方が多かった。</li> <li>欠席しているときに担任から電話がくると、気にかけてくれていると感じる。</li> <li>怪我や欠席のない子はなかなか担任と話す機会がない。ちょっとしたことでいいので連絡ノートに様子を書いてくれると嬉しい。</li> </ul>
④ 保護者への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>園と家庭間の連絡に滞りがなかったか。</li> <li>子どもの社会性や成長を保護者と共有しながら保育できたか。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>些細なことでもすぐに報告することで保護者との連携を図れるよう努めた。連絡帳、電話、ブログ、保護者面談や送迎時に直接様子を伝えるなど、連絡を密にするようにしている。</li> <li>初めてのライブ配信など、新しい試みにも挑戦した。自然体の表情も見せられるので行事だけでなく保育内でも活用できるよう検討していきたい。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>担任の先生だけでなく、こども園の先生全体で手厚く子どもたちを見てくれている、気にかけているととても感じている。在園していない兄弟姉妹にも声をかけてくれるのは本当に嬉しい。</li> <li>先生という仕事は子どもに大きな影響のある仕事だと、自分の子どもを見ていて感じる。子どもたちに愛情をもって人として大切なことを教えていってもらいたい。</li> <li>保育園部と幼稚園部の先生の連携はとれているのか？保育園部の先生だけでなく、幼稚園部の先生とも連携をとりたい。</li> </ul>
⑤ 地域の自然や社会との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の自然や施設を活用できたか。</li> <li>地域への開放や子育てへの支援ができたか。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>園外保育は年度当初に計画を立てたが、コロナの影響で実行できないものも多かった。</li> <li>園周辺の散歩は、季節の移り変わりを感じることができるので、安全面を考慮しながら定期的に行っていききたい。</li> <li>ひな組は、友だちをつくるきっかけや親子がふれ合う機会を提供することができた。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>担任の先生だけでなく、こども園の先生全体で手厚く子どもたちを見てくれている、気にかけているととても感じている。在園していない兄弟姉妹にも声をかけてくれるのは本当に嬉しい。</li> <li>先生という仕事は子どもに大きな影響のある仕事だと、自分の子どもを見ていて感じる。子どもたちに愛情をもって人として大切なことを教えていってもらいたい。</li> <li>保育園部と幼稚園部の先生の連携はとれているのか？保育園部の先生だけでなく、幼稚園部の先生とも連携をとりたい。</li> </ul>
⑥ 研修と研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種研修会に参加し研修で得たものを保育等の実践に生かすことができたか。</li> <li>園内研修に自分の考えを反映することができたか。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>園外の研修はほとんどが中止になっているので、園内研修や会議をより充実させたい。</li> <li>子どもの感性がテーマの園内研修はクラス差が見られた。積極的に絵画制作活動や劇遊び、絵本の読み聞かせなどを増やしていきたいと思う。</li> <li>コロナで自主登園の期間や急遽の観音山中止で、計画通りではなく状況に応じて工夫して保育を行ういい経験になった。そのときできることを考え対応できたと思う。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>担任の先生だけでなく、こども園の先生全体で手厚く子どもたちを見てくれている、気にかけているととても感じている。在園していない兄弟姉妹にも声をかけてくれるのは本当に嬉しい。</li> <li>先生という仕事は子どもに大きな影響のある仕事だと、自分の子どもを見ていて感じる。子どもたちに愛情をもって人として大切なことを教えていってもらいたい。</li> <li>保育園部と幼稚園部の先生の連携はとれているのか？保育園部の先生だけでなく、幼稚園部の先生とも連携をとりたい。</li> </ul>
⑦ 外部アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度のアンケート結果を把握し日常の活動に生かされたか。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の思いを知るだけでなく、自分を振り返り、他の職員や環境を理解するいい機会となっている。</li> <li>どんな意見も真摯に受け止め、保護者の方々が安心して子どもを預けていただけるよう、一人一人の職員の資質向上に努めていきたい。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>新体操服の名札がとれやすい。どうにかならないかという声をよく聞く。</li> </ul>